

令和8年度6月補正予算（案）の概要

1 一般会計

今回の補正予算は、当初予算を年間予算で編成しておりましたので、制度改正に伴うもの又は緊急を要する経費など必要最小限の補正措置を講じております。

その主なものは、県立大学周辺道路・公園整備事業、インバウンド観光推進事業、子育て共助推進事業などです。

その財源については、国・県支出金、諸収入等で措置し、繰入金により収支の調整をいたしております。

今回の補正予算の総額は約1億8,300万円の減額で、補正後の予算総額は約1,196億1,700万円となり、前年度同期に比べ、3.8パーセントの増となります。

(参考) 予算額の前年度の同期との比較

(単位 千円)

区 分	当初予算額	現計予算額	6月補正額	補正後の額	最終予算額
令和8年度	119,800,000	119,800,000	△182,520	119,617,480	
令和7年度	113,200,000	114,256,155	957,180	115,213,335	121,492,657
伸 率 (%)	5.8	4.9		3.8	

補正予算の総括表

歳入款別比較表

(単位 千円, %)

歳出性質別比較表

(単位 千円, %)

区 分	現計予算額	補正額	補正後の額	構成比
市 税	34,821,585		34,821,585	29.1
地 方 譲 与 税	780,000		780,000	0.7
利 子 割 交 付 金	60,000		60,000	0.1
配 当 割 交 付 金	200,000		200,000	0.2
株式等譲渡所得割交付金	300,000		300,000	0.3
法 人 事 業 税 交 付 金	560,000		560,000	0.5
地方消費税交付金	6,700,000		6,700,000	5.6
ゴルフ場利用税交付金	38,000		38,000	0.0
環境性能割交付金	6,000		6,000	0.0
地方特例交付金	341,000		341,000	0.3
地方交付税	20,200,000		20,200,000	16.9
交通安全対策特別交付金	50,000		50,000	0.0
分担金及び負担金	192,411	10,260	202,671	0.2
使用料及び手数料	1,765,889		1,765,889	1.5
国 庫 支 出 金	26,266,521	△ 3,818	26,262,703	22.0
県 支 出 金	12,832,856	12,977	12,845,833	10.7
財 産 収 入	490,646		490,646	0.4
寄 附 金	1,300,520		1,300,520	1.1
繰 入 金	3,052,134	△ 97,155	2,954,979	2.5
繰 越 金	100		100	0.0
諸 収 入	2,752,838	55,016	2,807,854	2.3
市 債	7,089,500	△ 159,800	6,929,700	5.8
歳 入 合 計	119,800,000	△ 182,520	119,617,480	100.0

区 分	現計予算額	補正額	補正後の額	構成比
人 件 費	17,030,536		17,030,536	14.2
物 件 費	15,060,066	77,295	15,137,361	12.7
維 持 補 修 費	2,470,651	7,836	2,478,487	2.1
扶 助 費	37,563,625		37,563,625	31.4
補 助 費 等	8,913,028	42,025	8,955,053	7.5
投 資 的 経 費	14,255,561	△ 309,676	13,945,885	11.7
積 立 金	865,322		865,322	0.7
投資及び出資金	5,015		5,015	0.0
貸 付 金	730,000		730,000	0.6
繰 出 金	13,416,306		13,416,306	11.2
公 債 費	9,252,406		9,252,406	7.7
予 備 費	237,484		237,484	0.2
歳 出 合 計	119,800,000	△ 182,520	119,617,480	100.0

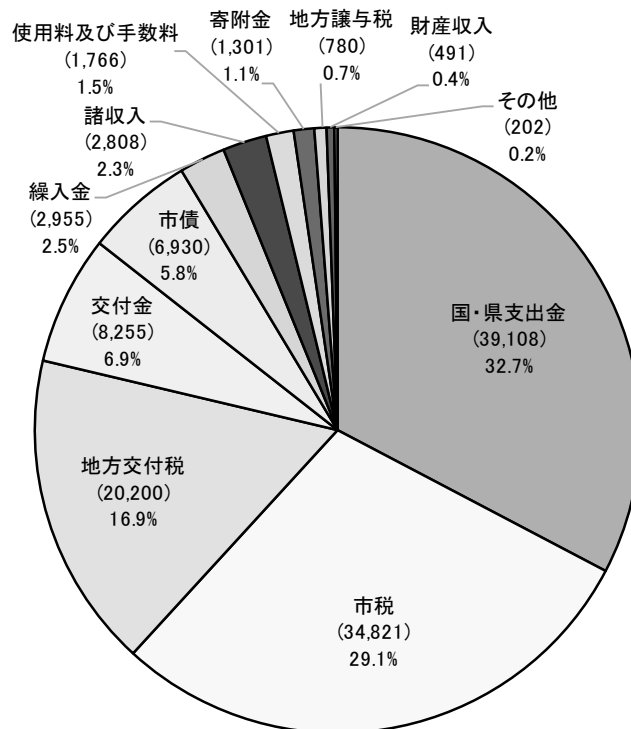
※端数処理のため構成比合計が一致しない場合があります。

◎補正後の一般会計の状況

(単位 百万円)

【歳入】

〔歳入総額 1,196億17百万円〕

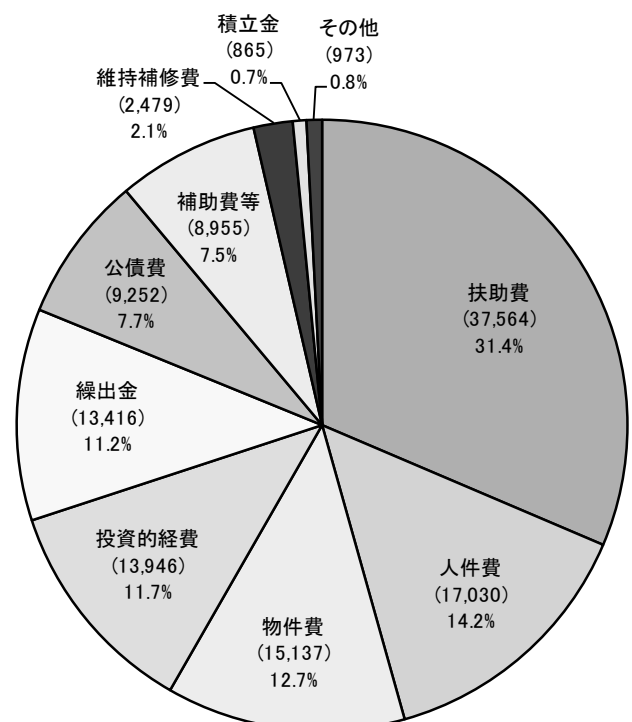
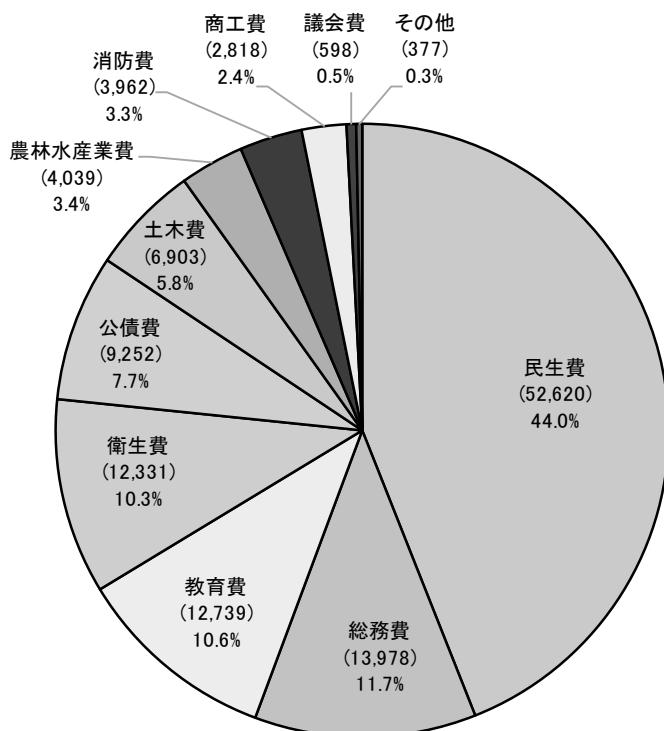


【歳出】

〔歳出総額 1,196億17百万円〕

《款別》

《性質別》



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。

2 企業会計

(単位 千円)

会 計	現計予算額	6月補正額	補正後の額	備 考
工業用水道事業	(収益的収支)			
	事業収益			
	18,039	179	18,218	・消費税還付金の増
	事業費			
	15,466		15,466	
	(資本的収支)			
	資本的収入			
	17,686	△172	17,514	・内示に伴う国庫補助金の減など
	資本的支出			
	23,090		23,090	

主な歳入

- **国庫支出金** △382万円
 道路事業交付金、地域未来交付金、防衛施設周辺整備助成補助金、
 都市再生整備計画事業交付金、観光振興事業費補助金等
- **県支出金** 1,298万円
 農山漁村振興交付金、基幹水利施設管理事業費補助金、美しい景観づくり
 事業補助金
- **諸収入** 5,502万円
 多面的機能支払事業補助金返還金、スポーツ振興くじ助成金、外国人住民
 生活オリエンテーション受託事業収入等
- **市債** △1億5,980万円
 道路整備事業債、漁港施設整備事業債、社会教育施設整備事業債等

主な事業

★は新規事業

【総務部】

- ★ **新作業服試行導入経費** 100万円 -
 機能性を重視した作業服の試行的導入に要する経費 (補正後 100万円)
- ★ **災害対策一般経費(与那国町交流経費)** 281万円 -
 国民保護法に基づき、避難住民の受入れを円滑に行うための交流等に要
 する経費 (補正後 281万円)

ページ

★ 外国人住民生活オリエンテーション事業	500万円	—
多文化共生社会の推進に向けた外国人住民に対する生活ルールの周知・啓発に要する経費	(補正後 500万円)	
【経済部】		
★ インバウンド観光推進事業外	4,130万円	6
海外からの観光客を呼び込むための観光商品の造成、受入れ環境の整備、バルーンミュージアムの多言語化に要する経費	(補正後 7,676万円)	
★ 松原周辺エリアマネジメント推進事業	994万円	—
松原周辺エリアの価値向上に向けた統一的なコンセプトの策定及びエリア内施設の活用方策の検討に要する経費	(補正後 994万円)	
★ 歴史資料活用推進事業	1,000万円	7
市民等が保有する古写真等の歴史資料を収集・データ化し、観光等に活用するためのポータルサイト構築等に要する経費	(補正後 1,000万円)	
【農林水産部】		
★ 農村型地域運営組織形成推進事業	600万円	—
中山間地域における地域コミュニティ機能の維持・強化を目的とした、農村型地域運営組織（農村RMO）に対する補助経費	(補正後 600万円)	
★ 多面的機能支払事業補助金返還金	2,244万円	—
補助事業者の書類作成不備に伴う返還金	(補正後 2,244万円)	
【都市戦略部・建設部】		
★ 県立大学周辺道路・公園整備事業	6,620万円	8
佐賀駅と大学を結ぶアクセス道路の歩行空間整備及び大溝公園の再整備に要する経費	(補正後 6,620万円)	
【こども未来部】		
★ 子育て共助推進事業	2,080万円	9
子育てを安心して頼り合える共助の仕組みづくりに要する経費	(補正後 2,080万円)	

< 参 考 >

○基金年度末残高

(単位 百万円)

年度	財政調整 基 金	減 債 基 金	公共用施設 建 設 基 金	廃 棄 物 処 理 施 設 建 設 基 金	合併振興 基 金	そ の 他	合 計
R 7	7,638	4,087	2,490	537	781	7,064	22,597
R 8	6,436	3,549	2,501	539	781	6,711	20,517

※R 7は年度末残高見込、R 8は6月補正後予算ベース

○地方債年度末残高

(単位 百万円)

年度	年度末残高
R 7	86,870
R 8	85,157

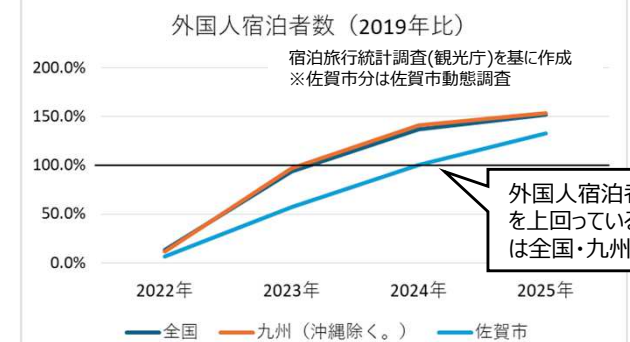
※R 7は年度末残高見込、R 8は6月補正後予算（繰越予算を含む。）ベース

事業名	インバウンド観光推進事業外					部名	経済部
						課名	観光振興課
補正額	41,300	財源	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			20,650				20,650
総合計画	04 経済・観光	「ひと」と「しごと」に選ばれ、稼ぐまち			価値のある観光体験の提供		
事業概要	佐賀市の象徴であるバルーンなどの地域資源を体験できる高付加価値な観光商品造成を推進するほか、多言語対応などの受入れ環境を整備し、インバウンド観光客増加による経済効果の拡大を図る。						

1 現状・課題 **2 目指す姿**

通過されるまち

- ・**来訪動機の不足**
地域資源の活用・高付加価値化が不十分で、通年の来訪動機や選ばれる競争力が弱い。
- ・**受入れ環境の不足**
多言語対応や回遊情報の整備が不十分で、安心・安全な旅行環境となっていない。

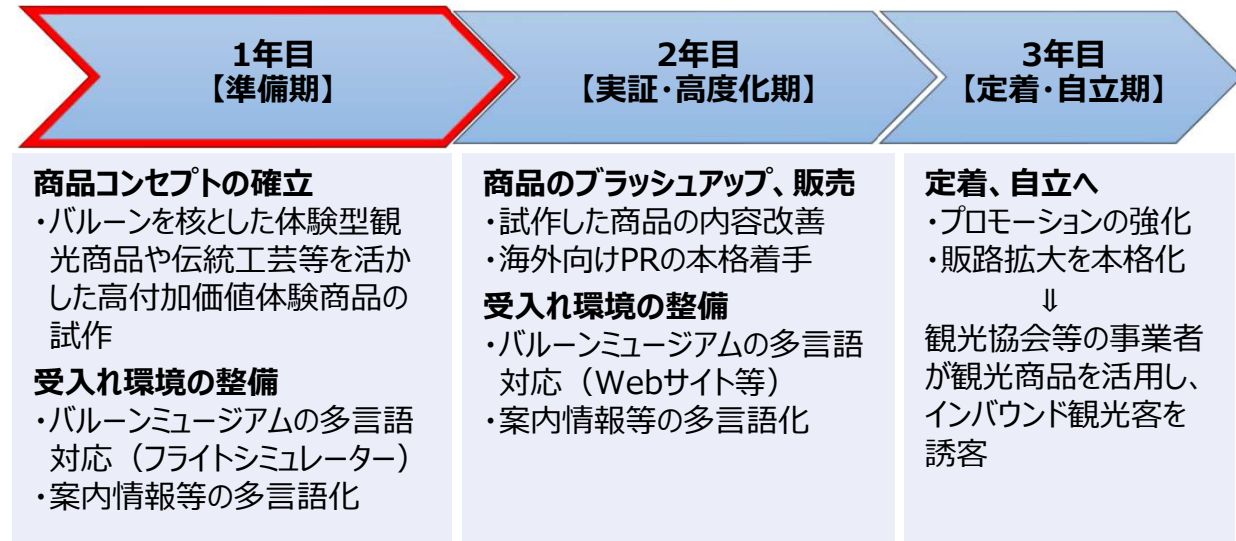


「通過されるまち」から「滞在し価値を感じるまち」へ

佐賀市でしかできない **体験による集客促進**
(バルーン、伝統工芸等)

安心・安全な **旅行環境整備**

3 事業内容



【今年度事業費の内訳】

- ・インバウンド観光推進事業委託料 25,300

(内訳)

観光商品造成	22,300
受入れ環境整備	3,000

- ・設備等整備委託料（バルーンミュージアムシミュレーター多言語化） 16,000

※地域未来交付金（地域未来推進型）を活用（補助率1/2）

事業名	【新規】歴史資料活用推進事業					部名	経済部
						課名	歴史・文化課
補正額	10,000	財源	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			10,000				
総合計画	03 文化・スポーツ	心豊かに夢と誇りを未来につなぐまち			文化の魅力を高め未来へ		
事業概要	市民等が保有する古写真等を収集・データ化し、歴史資料として未来に残すとともに、観光資源として活用する。						

1 事業内容

現状・課題

- 市民等が保有する歴史資料が世代交代が進むにつれて失われている。
- 歴史資料の寄附の申出があるも、受け入れる体制が整っていない。
⇒本市の歴史・文化を伝える資料が失われている。
- 本市所有の古写真等の歴史資料は紙媒体中心で管理しており、デジタル技術を活用した情報発信等が十分に行っていない。
⇒観光誘客・地域活性化への活用の余地がある。

対応策

- ✓ 歴史資料の収集・データ化
(佐賀城下地区を中心にまちづくり協議会等から収集)
- ✓ データ化した資料をポータルサイトで公開
⇒学校教育、社会教育の資料として活用
- ✓ 収集した資料とGISを連動させ、歴史を体感できるまち歩きによる観光誘客に活用
⇒GPS連動スタンプラリー等のイベント実施
観光カードの配布

2 事業費

ホームページ作成等委託料 10,000
※観光振興事業費補助金 (補助率10/10) を活用

3 スケジュール

8月～12月：資料収集・データ化
11月～12月：ワークショップ開催
12月～ 1月：公開ポータルサイトの構築
2月～ 3月：観光カードを作成・配布
まち歩きイベント実施

【現地体験】GISマップ機能 (ポータルの目玉)

・スマホ越しに体感

「今いる場所の昔の姿が見える！」

・地図レイヤーの切り替え (時代別・テーマ別)

- 江戸時代
- 明治時代
- 祭り

・現地説明板のQRコードからシームレスに起動

【情報の深化】市民参加型情報整理

・ワークショップで場所を特定

場所不明写真の公開、市民から情報を募集

【リアル連動】観光カードによる誘導

・駅、公民館、イベントで配布

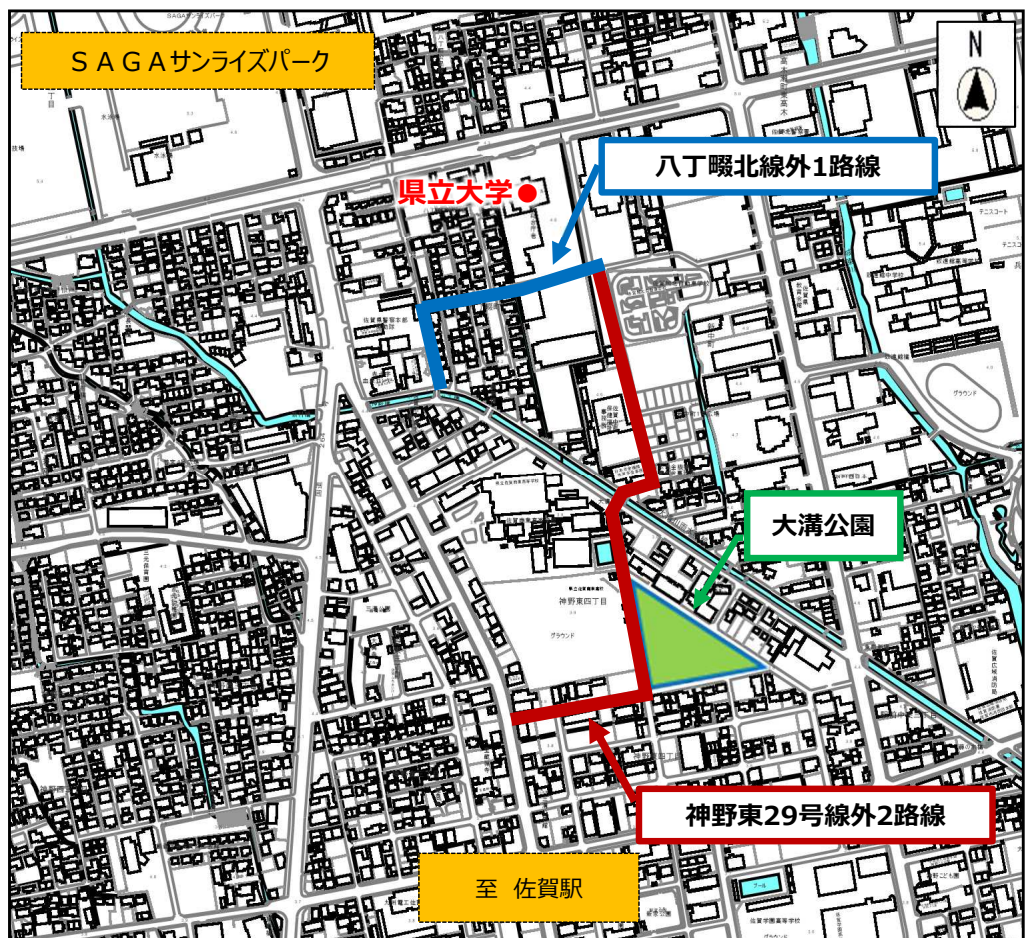
佐賀歴史観光カード



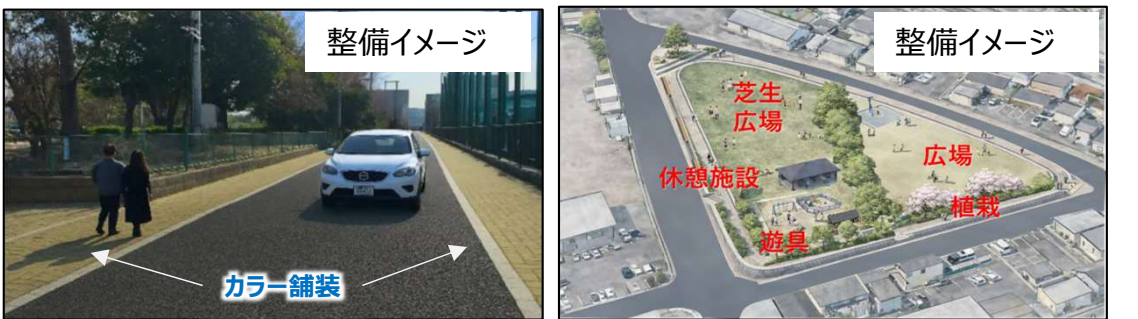
歴史資料のイメージ (古写真)

事業名	【新規】県立大学周辺道路・公園整備事業					部名	都市戦略部・建設部	
						課名	緑化推進課・道路整備課	
補正額	66,200	財源	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
			33,100		29,700		3,400	
総合計画	09 都市・交通	人中心に暮らしやすさが整ったまち			市民と織りなす都市のみどり美しい景観 外			
事業概要	県立大学の開学（令和11年4月予定）に向けて、佐賀駅と大学を結ぶアクセス道路を安全に移動できるよう、歩行空間を整備する。また、若者や市民が集いやすい快適な滞留空間を形成するため、沿道の大溝公園を再整備する。							

1 整備箇所



2 事業内容



整備箇所	R8事業内容	R8事業費
神野東29号線外2路線	路側帯カラー舗装工事	18,560
八丁畷北線外1路線	実施設計委託	10,010
大溝公園	実施設計委託	20,270
	既存施設等の撤去工事	17,360
合計		66,200

3 スケジュール

整備箇所	内容	R8	R9	R10
神野東29号線外2路線	工事	→		
八丁畷北線外1路線	設計	→		
	工事		→	
大溝公園	設計	→		
	工事		→	

事業名	【新規】子育て共助推進事業					部名	こども未来部
						課名	保育幼稚園課
補正額	20,800	財源	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			10,400				10,400
総合計画	01 子育て・教育	こどもの幸せを何よりも優先するまち	こどもたちの幸せと健やかな成長を育む環境の充実				
事業概要	地域で子育てを支える人材の育成及び住民同士のつながりを深める交流イベントを実施し、連絡ツールとしてアプリを活用することにより、子どもを育てる家庭が日常的に情報共有や相談ができ、孤立することなく安心して子育てできる環境を整える。						

1 現状・課題

- 核家族世帯の増加等、社会構造の変化により地域のつながりが薄れ、育児不安等を抱える家庭が孤立せずに安心して暮らすことができるための支援が求められている。
- 働きながら子育てを行う家庭が増加しており、仕事と育児の両立が課題となっている。

2 事業内容

思いやりをシェア。つながる、広がる、ホッとする。みんなで子どもを育てるまちへ。

01

信頼で
つながる **人づくり**



コーディネーターの
発掘・育成

当事者同士をつなぐ
サポート役

- 子育てOB、保育経験者など
- 研修を通じてしっかり育成

02

顔が
見える **関係づくり**



気軽な
交流イベントの開催

気心の知れた
“顔見知り”を増やす

- 保護者、支援したい人が出会う
- コーディネーターが顔合わせ

03

デジタル ネットワーク
を活かした **輪づくり**



簡単・スムーズな
専用アプリの活用

日々の頼り合いを
さらに後押し

- 「頼みたい」「手伝える」を結ぶ
- 連絡の手間と気兼ねを減らす



突然のピンチでも
**頼れる「選択肢」が
手元にある安心感！**

急な残業で
迎えに行けない

通院の間だけ
見ていてほしい



悩みの抱え込み

近くに頼める人がいない・・・

知人にも気を遣ってしまう・・・

子育てを安心して「頼り合える」仕組みづくり

3 事業費の内訳

【子育て共助推進事業委託料】

・コーディネーターの発掘、育成	7,200
・交流イベントの実施	6,800
・専用アプリの導入	6,800

※地域未来交付金（地域未来推進型）
を活用（補助率1/2）

4 スケジュール

年月	内容
R8.10～	コーディネーターの発掘、育成
R9.1～	交流イベントの実施
R9.1～	アプリ利用開始